

事例

帰宅願望の強い高齢者のAさん。外に出ると危ないため、担当職員のXさんは、高齢者のAさんが動くわかるよう室内履きに鈴を付けました。

高齢者のAさんは昼食が終ると「もう帰るから」と出入口に向かいます。昼食後の忙しい時間帯なので、出入口の鍵を閉め、高齢者のAさんが出られないようにしました。Aさんは繰り返し「もう帰してよ」と言いながら出入口の扉を開けようとガタガタ動かしています。Aさんの行動はいつものことなので、職員は誰も気にする様子もなく、他の業務にあたっていました。

「帰る。帰る。」と繰り返す高齢者のAさんにイライラしてきた担当職員のXさんは、「いい加減にして、まだ時間じゃないから帰れないの。いいから動かないで座って待って！」と大きな声で、注意しました。

フェーズ 1 <気になる言動を考えてみよう>

- ・事例を読んで、気になる言動は何でしょうか？

フェーズ 2 <高齢者の気持ちを考えてみよう>

- ・そのような言動をされて高齢者はどう感じたでしょうか？

- 考えてみようポイント：一方的な思いでケアをしていませんか？
- ：高齢者の尊厳を傷付けていませんか？



虐待の類型を考えてみよう。

フェーズ 3

<職員の気持ち、言動に至った職員の要因や背景を考えてみよう>

- ・なぜ、そのようなことが起こったのでしょうか？原因を含めて考えてみましょう。

フェーズ 4

<対応方法を考えてみよう>

- ・このような言動や状況を見聞きした時、どうしますか？

フェーズ 5

<できることを考えてみよう>

- ・そのようなことが起こらないためにできることを考えてみましょう。
- ・実現可能性の有無は考えません。
- ・出た意見はすべて付箋に記載する。

フェーズ 6

<実現する方法を考えてみよう>

- ・「個人で」「チームで」「組織で」対応することに分けてみましょう。